

令和3年度 鎮西ひかる保育園

自己評価の公開

保育所保育指針では、保育の質の向上を図るため、「保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、当該保育園の保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」ことが明記されています。当園では組織として以下のように、自己評価に取り組みましたので公開致します。

〈評価について〉  
以下の基準で評価を行なっています。  
A－ 理想的な状態  
B－ 良い状態  
C－ 一部検討を要する状態  
D－ 改善を要する状態

	評価項目	評価結果
子どもの発達援助の基本	① 保育過程を、基本方針に基づき作成している。	A
	② 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	A
	③ 一人ひとりの子どもの発達状況、保育目標、生活状況について記録がある。	A
	④ 日常の保育を通して子どもの思いや気持ちを汲み取りながら指導計画に反映させている。	B
	⑤ 指導計画の評価、検討を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を見直している。	B
	⑥ 一人ひとりの子どもに関する情報を周知している。	A
健康管理	① 登園時や保育中の子どもの健康管理は、一人ひとりの発育・発達状況・健康状況に応じて実施している。	A
	② 感染症等予防や乳幼児突然死症候群に配慮した保育を実施している。	A
食事	① 食育を通して子ども達が楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している。	B
	② 子どもの食生活を充実させるために、家族と連携している。	B
	③ 食物アレルギーは個別に配慮して、食事を提供している。	A

保育環境	① 子どもが心地良く過ごす事の出来る環境を整備している。	A
	② 動植物との触れ合いを大切に、心が豊かになるような取り組みをしている。	B
	③ 伝統的な行事を取り入れている。	B
	④ 日常的な生活や環境の中で標識や文字に関心をもつ工夫をしている。	B
	⑤ 子どもが自ら興味を持ち、五感を刺激するような工夫をしている。	A
保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと務めている。	A
	② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	A
	③ 子どもが自発的に活動出来るよう環境が整備されている。	B
	④ 身近な自然や社会と関われるような取り組みがされている。	B
	⑤ 様々な表現活動が体験できるような取り組みがされている。	A
	⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	A
	⑦ 乳児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A
	⑧ 長時間にわたる保育の為の環境が整備され保育の内容や方法に配慮が見られる。	B
	⑨ 気になる子への配慮された保育が行なわれている。	A
	⑩ 積極的な運動遊びを取り入れている。	A
人権尊重	① 子どもの人権に十分配慮するとともに文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	B
	② 日本語によるコミュニケーションが苦手な保護者に対して、園の意見や連絡事項が正しく伝わるよう、努力や工夫をしている。	A
育児支援	① 一人ひとりの保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	A
	② 個々の子どもの様子は直接話したり、連絡帳を使ってコミュニケーションをとっている。	A
	③ 園全体の様子、クラスの子どもの様子、保育の内容等をクラスだより等で知らせている。	A
	④ 虐待を受けていると疑われている子どもの早期発見に務めている。	A
	⑤ 保護者の保育参加を進めるための工夫をしている。	B
地域支援・連携	① 育児相談や体験教室など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている。	B
	② 地域の色んな方々との交流を積極的に行っている。	B
	③ 近隣の方々に保育について理解を得たり、協力依頼するなど、園からの発信を行っている。	B
	④ 子ども達が戸惑うことなく小学校の生活や環境に慣れるよう、小学校との連携をとっている。	A
	⑤ 中高生等の保育体験・実習生・ボランティアの受け入れを行なっている。	A

・ 運営管理

	評価項目	評価結果
基本方針	① 保育園の保育理念及び基本方針を明文化している。	A
	② 保育理念や基本方針を職員、保護者などに周知する為の取り組みを行なっている。	B
組織運営	① 保育の質の向上や改善のための取り組みを行っている。	B
	② 施設長のリーダーシップが発揮されている。	B
	③ 常に向上心を持ち、組織強化に取り組んでいる。	B
	④ 職員間の連携を取るための取り組みがなされている。	A
人材育成	① 職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修の機会を確保している。	B
	② 先輩が後輩保育士を育成する体制をとっている。	A
安全・衛生・危機管理	① 事故や災害に適応出来るマニュアルがあり、全職員に周知されている。	B
	② 安全管理のマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されている。	A
	③ 事故防止のための具体的な取り組みを行っている。	A
	④ 調理場、水周り等の衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	B
守秘義務の遵守	① 保育業務の中で知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持について、全職員に周知し、守られている。	A
	② 保護者や地域の人から相談事項について、プライバシーの保護、話された内容の秘密保持を徹底し、守られている。	A